

DWS ワールド・ファンズ
-DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド

ルクセンブルグ籍／契約型／
オープン・エンド型外国公社債投資信託

運用報告書(全体版)

作成対象期間：第14期(2022年1月1日～2022年12月31日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、DWS ワールド・ファンズ-DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド(以下「ファンド」といいます。)は、このたび、第14期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ファンドの仕組みは次のとおりです。

ファンド形態	ルクセンブルグ籍／契約型／オープン・エンド型外国公社債投資信託
信託期間	無期限
繰上償還	ファンドは、いつでも管理会社により解散されることがあります。管理会社は、受益者の利益を勘案して、管理会社の利益を保護するために、または投資方針のために必要または適切であるとみなされる場合、ファンドの解散を決定することができます。ファンドの解散は、法律上定められる場合、強制的に行われます。
運用方針	主に南アフリカ・ランド建の短期金融商品、債券および銀行預金等への投資を通じて、流動性を確保すると同時に、安定した収益の獲得を目指します。
主要投資対象	主として、南アフリカ・ランド建の短期金融商品、債券および銀行預金に投資します。AAA格の国際機関債に投資を行う場合もあります。
運用方法	南アフリカ・ランド建の短期金融商品、債券および銀行預金等に投資することにより運用を行います。
主な投資制限	管理会社は、ファンド資産の運用にあたり、以下の投資制限を遵守します。以下は、ファンドの投資制限の要点を例示したものです。 <ol style="list-style-type: none">証券取引所で取引可能でない証券または別の規制市場(定期的に営業しており、かつ公認され、一般に公開されているもの。)で取引されていない証券に、ファンドの資産の15%を超えて投資することはできません。同一の発行体から同種の表章された権利の20%を超える部分を購入することはできません。(i) 何らかの種類の株式に投資すること、または(ii)株式に投資するその他の集団投資ファンド(契約型投資ファンドの受益証券を含む。)もしくは会社型投資ファンドの株式もしくは受益証券に投資することはできません。公式の証券取引所への上場が認められていないかまたは別の規制市場(定期的に営業しており、かつ公認され、一般に公開されているもの。)で取引されていない譲渡可能証券のショート・ポジションを保有することになる空売りを行うことはできません。ただし、ファンドは、かかる証券が流動性が高く、ファンドの資産の10%を超えない場合は、規制市場で相場を付けられずまたは取引されていない譲渡可能証券についてのショート・ポジションを保有することができます。また、同じ発行体により発行された同種の証券の10%を超える譲渡可能証券についてのショート・ポジションを保有することになる空売りを行うことはできません。ファンドの勘定による借入れを行うことはできません(ただし、一時的に、ファンドの資産の10%を上限として借入れを行うことはできます。)デリバティブ金融商品に関する証拠金支払いは、ファンドの資産の50%を超えることはできません。ファンドの流動資産の準備金は、少なくともファンドにより提供される証拠金支払いの金額と同額でなければなりません。ファンドの純資産の20%を超えて他の投資信託の受益証券に投資することはできません。 管理会社は、ファンドの受益証券が販売される各国の法令を遵守するために、ファンドの受益証券の保有者(受益者)の利益となる、または利益に反しない投資制限を随時課すことができます。
分配方針	年次分配を行うことができます。 (注) 分配額は変動しますので、状況によっては、分配金が支払われないことがあります。

管理会社
DWSインベストメント・エス・エー

代行協会員
ドイツ証券株式会社

目 次

	頁
I. 運用経過および運用状況の推移等	1
II. 財務書類	7
III. お知らせ	23

(注1) DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド（以下「ファンド」といいます。）は、アンブレラ・ファンドであるDWS ワールド・ファンズのサブ・ファンドです。現在、DWS ワールド・ファンズは、本ファンドだけで構成されています。

(注2) 南アフリカ・ランド（以下「ランド」ともいいます。）の円貨換算は、特に記載がない限り、2023年4月28日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ランド=7.33円）によります。

(注3) ファンドは、ルクセンブルグ法に基づいて設立されていますが、受益証券はランド建のため以下の金額表示は別段の記載がない限りランド貨をもって行います。

(注4) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入してあります。したがって、合計の数字が一致しない場合があります。また、円貨への換算は、本書中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。したがって、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

I. 運用経過および運用状況の推移等

(1) 当期の運用経過および今後の運用方針

▶▶ 運用経過

投資目的および報告期間のパフォーマンス

「DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド」(南アフリカ・ランド建)は、投資方針に従い、南アフリカ・ランド建短期利付債への投資を通じて、安定的な収益成長を目指して投資を行いました。

当期中のファンドのパフォーマンスは、1口当たり3.5%(BVI法^(注)、南アフリカ・ランド建)上昇しました。

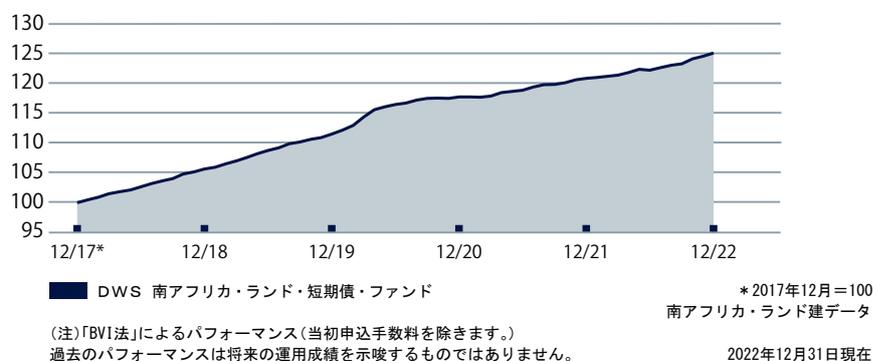
(注)BVI法は、比較を可能とするための投資信託の価格動向の算出のためにBVI(ドイツ投資信託協会)が採用している標準的な計算方法です。この計算方法は当初の費用は無視しており、分配金は直ちに再投資されると想定されます。

報告期間における投資方針

ポートフォリオ運用にあたり特に重要なリスクと考えたのは、ロシアとウクライナ間の戦争に加え、インフレ率の大幅な上昇と景気後退の顕在化の兆しの双方への配慮を特に重視した各中央銀行による今後の金融政策を巡る不透明感でした。

2022年の国際資本市場では非常に厳しい局面が相次ぎました。新型コロナウイルスのパンデミックがピークに達した後の急激な景気回復下においてサプライチェーンの制約が強まったことからインフレ率が急激に上昇し、市場は下降トレンドに入りました。また、2022年2月24日にロシアがウクライナへ侵攻以降現在に至るまで続く戦争に伴い状況は一段と悪化しました。欧米諸国によるロシアへの制裁措置の強化やロシアによる供給停止を受けて、エネルギー価格(石油、ガス、石炭)や食品価格が高騰しました。インフレやインフレの動向を抑制するために多くの中央銀行が金利を大幅に引き上げ、一部の中央銀行が長期に及んだ金融緩和政策を終了しました。例えば、米連邦準備制度理事会(FRB)は2022年3月中旬から12月中旬までに政策金利を7回にわたり計4.25%引き上げて、4.25%(年率)～4.50%(年率)のレンジとしました。欧州中央銀行(ECB)もこれに続き、前回利下げ終了から約3年ぶりとなる2022年7月後半以降主要政策金利を4回にわたり計2.5%引き上げて2.50%(年率)としました。このような環境下、2022年を通じた世界経済の成長率の低下を踏まえ、市場関係者の間では景気後退の本格化への懸念がますます高まりま

DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド 直近5年間のパフォーマンス^(注)



DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド パフォーマンス一覧

ISIN	1年	3年	5年
LU0406680719	3.5%	12.3%	25.2%

「BVI法」によるパフォーマンス(当初申込手数料を除きます。)
過去のパフォーマンスは将来の運用成績を示唆するものではありません。

2022年12月31日現在
南アフリカ・ランド建データ

した。

インフレが加速する中、南アフリカ準備銀行は2022年に利上げを6回行い、年率3.75%から7.00%に大幅に引き上げました。南アフリカの短期金利は、代表的指数である3ヶ月物短期金融市場指標で見ると、当期中に年率3.88%から、直近の年率6.73%まで大幅に上昇しました。南アフリカ債券市場では、短期債の利回りも大幅に上昇し、価格は下落しました。

投資方針に従い、ファンドは南アフリカ・ランド建短期債券に投資しました。政府機関を含む銀行および国際機関の債券を愛好しており、これには、ドイツ復興金融庫、欧州投資銀行、国際復興開発銀行などの利付証券も含まれました。また、南アフリカ短期国債もポートフォリオに組み入れました。当期末日現在、ポートフォリオにおいて保有した債券のほとんどは、投資適格債(主要格付機関による格付BBB-以上)でした。このような投資状況で、ファンドは、先進国よりも高い南アフリカの利回りの恩恵を受けました。

環境的および/または社会的特性について：
ファンドは、金融サービス・セクター

の持続可能性関連開示に関するEU規則2019/2088(SFDR)の第6条に該当する商品です。

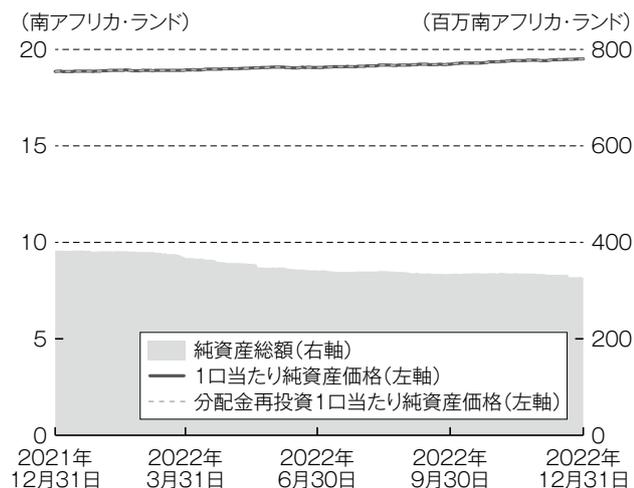
以下は、持続可能な投資を促進するための枠組みの構築に関する2020年6月18日付規則(EU)第2020/852号の第7条に従い義務付けられている開示です：ファンドの投資対象は、環境的に持続可能な経済活動に関するEUの基準を考慮したものではありません。

ファンドについて、金融サービス・セクターの持続可能性関連の開示に関する規則(EU)第2019/2088号の第7条(1)に従い以下の情報を提供します：ポートフォリオ運用に関し、ファンドのために持続可能性の要因に関する主要な悪影響を考慮することはありませんでした。その理由は、(上記のとおり)ファンドがESGおよび/または持続可能な投資方針を追求するものではなかったからです。

今後の運用方針

現在のポートフォリオを維持しつつ運用する予定ですが、インフレ動向や金融政策次第では、残存年数などの調整を行うことも検討します。

》 当期の1口当たり純資産価格等の推移について



第13期末の受益証券1口当たり純資産価格:

18.85ランド

第14期末の受益証券1口当たり純資産価格:

19.51ランド(分配金額0.00ランド)

騰落率:

3.50%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

世界的な高インフレや南アフリカ準備銀行による利上げ等が変動要因となり、利回り上昇を受けた債券価格の下落はマイナスとなりました。一方で、保有債券の相対的に高めの利回りはパフォーマンスに貢献し、ファンドの1口当たり純資産価格は上昇しました。

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。ただし、ファンドは2022年12月末まで分配の実績はありません。

(注2) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。

(注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定時の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。ただし、ファンドは2022年12月末まで分配の実績はありません。

(注4) ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注5) ファンドにベンチマークは設定されていません。

》 分配金について

当期中、分配は行われませんでした。

》 投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における有価証券の主な銘柄については、後記「Ⅱ. 財務書類、投資ポートフォリオ」をご参照ください。

(2) 費用の明細

項目	項目の概要			
管理報酬	純資産総額の年率1.4%以内 管理会社は、ファンドから管理報酬(一括報酬)を受領し、管理報酬から以下のファンドの関係法人に対する報酬を支払います。		管理報酬は、ポートフォリオ運用、管理事務、ファンドの販売(該当する場合)、保管受託銀行の業務およびその他ファンドが販売される国で法律および規則により支払うべき手数料(日本の代行協会員報酬等)の対価として管理会社に支払われます。	
	手数料等	支払先	対価とする役務の内容	報酬率
	代行協会員報酬	代行協会員	受益証券1口当たり純資産価格の公表業務、目論見書、決算報告書等の日本における販売会社への送付業務、およびこれらに付随する業務	ファンドの純資産総額の年率0.10% (四半期毎後払い)
販売報酬	日本における販売会社	受益証券の販売業務・買戻しの取扱業務、運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務	ファンドの純資産総額の年率0.60% (毎月後払い)	
その他の費用(当期)	0.23%		借入金に係る支払利息および預金に係る負の利息ならびに利息に類似する費用、法務およびコンサルティング費用、年次税	

(注) 報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用」については、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示しております。

(3) 投資資産

① 投資有価証券の主要銘柄

(2023年4月末日現在)

	銘柄	種類	国・地域等	償還日	利率 (%)	額面金額 (ランド)	簿価 (ランド)	時価 (ランド)	投資比率 (%)
1	European Investment Bank 14/17.09.24 MTN	債券	国際機関	2024年9月17日	8.50	55,000,000	56,179,540	57,783,516	16.76
2	KfW 18/06.06.23 MTN	債券	ドイツ	2023年6月6日	7.75	37,000,000	37,679,190	39,540,661	11.47
3	Intl Bk for Reconst and Dev. 16/20.06.24 MTN	債券	世界銀行 (IBRD)	2024年6月20日	0.00	38,200,000	34,476,980	34,453,535	9.99
4	Int. Bank for Rec. and Developm. 18/17.05.23 MTN	債券	世界銀行 (IBRD)	2023年5月17日	7.50	32,000,000	32,952,396	34,268,524	9.94
5	Deutsche Bank, London 12/20.07.2024 MTN	債券	ドイツ	2024年7月20日	0.00	38,500,000	34,072,442	33,652,850	9.76
6	Asian Development Bank 20/07.12.23 MTN	債券	国際機関	2023年12月7日	4.50	32,000,000	31,449,651	31,718,884	9.20
7	South Africa 97/21.12.26 No.186	債券	南アフリカ	2026年12月21日	10.50	27,300,000	28,865,942	29,686,555	8.61
8	Citigroup Global Markets 18/12.07.23 MTN	債券	アメリカ合衆国	2023年7月12日	0.00	10,000,000	8,795,000	9,840,950	2.85
9	Intl Bk Recon & Develop 13/07.06.2023 MTN	債券	世界銀行 (IBRD)	2023年6月7日	7.00	6,500,000	6,483,705	6,894,554	2.00
10	Coöperatieve Rabobank 97/30.12.27 MTN	債券	オランダ	2027年12月30日	0.00	5,000,000	3,410,200	3,320,625	0.96
11	South Africa 13/31.01.30 No.R2030	債券	南アフリカ	2030年1月31日	7.75	500,000	447,679	456,634	0.13

(注) 上記のほか、投資有価証券はありません。

② 投資不動産物件

該当ありません (2023年4月末日現在)

③ その他投資資産の主要なもの

該当ありません (2023年4月末日現在)

(4) 運用実績

① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	ランド	円	ランド	円
第5会計年度末 (2013年12月末日)	423,379,279.89	3,103,370,122	12.63	93
第6会計年度末 (2014年12月末日)	382,096,336.45	2,800,766,146	13.19	97
第7会計年度末 (2015年12月末日)	350,390,249.93	2,568,360,532	13.77	101
第8会計年度末 (2016年12月末日)	408,395,739.77	2,993,540,773	14.63	107
第9会計年度末 (2017年12月末日)	406,725,699.51	2,981,299,377	15.58	114
第10会計年度末 (2018年12月末日)	443,569,382.71	3,251,363,575	16.46	121
第11会計年度末 (2019年12月末日)	390,462,457.01	2,862,089,810	17.38	127
第12会計年度末 (2020年12月末日)	424,616,432.27	3,112,438,449	18.36	135
第13会計年度末 (2021年12月末日)	382,835,865.24	2,806,186,892	18.85	138
第14会計年度末 (2022年12月末日)	326,767,544.89	2,395,206,104	19.51	143
2022年1月末日	381,299,166.66	2,794,922,892	18.87	138
2月末日	380,255,113.33	2,787,269,981	18.90	139
3月末日	367,108,828.84	2,690,907,715	18.93	139
4月末日	356,972,344.70	2,616,607,287	19.00	139
5月末日	347,589,813.55	2,547,833,333	19.08	140
6月末日	341,969,843.51	2,506,638,953	19.06	140
7月末日	339,588,680.87	2,489,185,031	19.13	140
8月末日	337,709,643.79	2,475,411,689	19.19	141
9月末日	334,608,232.73	2,452,678,346	19.23	141
10月末日	336,187,393.87	2,464,253,597	19.36	142
11月末日	334,653,024.54	2,453,006,670	19.43	142
12月末日	326,767,544.89	2,395,206,104	19.51	143

② 分配の推移

会計年度	分配
第5会計年度 (2013年1月1日から2013年12月末日)	分配は行われませんでした。
第6会計年度 (2014年1月1日から2014年12月末日)	分配は行われませんでした。
第7会計年度 (2015年1月1日から2015年12月末日)	分配は行われませんでした。
第8会計年度 (2016年1月1日から2016年12月末日)	分配は行われませんでした。
第9会計年度 (2017年1月1日から2017年12月末日)	分配は行われませんでした。
第10会計年度 (2018年1月1日から2018年12月末日)	分配は行われませんでした。
第11会計年度 (2019年1月1日から2019年12月末日)	分配は行われませんでした。
第12会計年度 (2020年1月1日から2020年12月末日)	分配は行われませんでした。
第13会計年度 (2021年1月1日から2021年12月末日)	分配は行われませんでした。
第14会計年度 (2022年1月1日から2022年12月末日)	分配は行われませんでした。

Ⅱ. 財務書類

- a. ファンドの直近会計年度の日本語の財務書類は、ルクセンブルグにおける法令に準拠して作成された原文の財務書類を翻訳したものである。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第131条第5項ただし書の規定の適用によるものである。
- b. ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるケーピーエムジー オーディット エス・アー・エール・エルから監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されている。
- c. ファンドの原文の財務書類は、ランドおよび円で表示されている。日本語の財務書類には、主要な金額について円貨換算が併記されている。日本円による金額は、2023年4月28日現在における株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1ランド=7.33円）で換算されている。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

(訳文)

独立監査人の監査報告書

DWS ワールド・ファンズの受益者各位
ルクセンブルグ大公国、ルクセンブルグ1115、
ブルバール・コンラ・アデヌール2番

財務書類監査に関する報告

監査意見

私たちは、DWS ワールド・ファンズおよびその各サブ・ファンド（以下「当ファンド」という。）の2022年12月31日現在の投資有価証券明細およびその他の純資産を含む純資産計算書、同日に終了した会計年度における損益計算書および純資産変動計算書、ならびに重要な会計方針の要約を含む財務書類に対する注記から構成されている財務書類の監査を行った。

私たちは、添付の財務書類が、財務書類の作成および表示に関するルクセンブルグの法令上の要件に準拠して、DWS ワールド・ファンズおよびその各サブ・ファンドの2022年12月31日現在の財政状態ならびに同日に終了した会計年度における運用成績および純資産の変動について、真実かつ公正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、職業監査人に関する2016年7月23日法（以下「2016年7月23日法」という。）およびルクセンブルグにおいて金融監督委員会（以下「CSSF」という。）により採用された国際監査基準（以下「ISA」という。）に準拠して監査を行った。2016年7月23日法およびルクセンブルグにおいてCSSFにより採用されたISAにおける私たちの責任は、「財務書類監査における監査人の責任」の項に詳述されている。私たちはまた、ルクセンブルグにおいてCSSFにより採用された国際会計士倫理基準審議会の定める職業会計士のための倫理規程（国際独立性基準を含む。）（IESBA Code）および私たちの財務書類監査に関連する倫理規程に従って、当ファンドから独立しており、また、当該倫理規程に従ってその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

管理会社の取締役会はその他の記載内容について責任を有している。その他の記載内容は、年次報告書に含まれる情報のうち、財務書類および監査報告書以外の情報である。

私たちの監査意見の対象には、その他の記載内容は含まれておらず、したがって、私たちはその他の記載内容に対していかなる保証の結論も表明するものではない。

財務書類監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務書類または私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な虚偽表示の兆候があるかどうか注意を払うことにある。私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な虚偽表示があると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

管理会社の取締役会の責任

管理会社の取締役会の責任は、財務書類の作成および表示に関するルクセンブルグの法令上の要件に準拠して財務書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正または誤謬による重要な虚偽表示のない財務書類を作成するために管理会社の取締役会が必要と判断した内部統制を整備および運用することが含まれる。

財務書類を作成するに当たり、管理会社の取締役会は、当ファンドおよびその各サブ・ファンドが継続企業として存続する能力があるかどうかを評価し、継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任があり、また、管理会社の取締役会が当ファンドまたはそのいずれかのサブ・ファンドの償還もしくは運用停止の意図があるか、またはそうする以外に現実的な代替案がない場合を除き、継続企業の前提に基づいて財務書類を作成する責任がある。

財務書類監査における監査人の責任

私たちの監査の目的は、全体としての財務書類に不正または誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査意見を表明することにある。合理的な保証は、高い水準の保証であるが、2016年7月23日法およびルクセンブルグにおいてCSSFにより採用されたISAに準拠して行った監査が、すべての重要な虚偽表示を常に発見することを保証するものではない。虚偽表示は、不正または誤謬より発生する可能性があり、個別にまたは集計すると、財務書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、2016年7月23日法およびルクセンブルグにおいてCSSFにより採用されたISAに従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正または誤謬による財務書類の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。さらに、監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。これは、不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの除外、虚偽の陳述、および内部統制の無効化が伴うためである。
- ・財務書類監査の目的は、当ファンドの内部統制の有効性に対する意見を表明するためのものではないが、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。
- ・管理会社の取締役会が採用した会計方針の適切性、ならびに管理会社の取締役会によって行われた会計上の見積りの合理性および関連する開示の妥当性を評価する。
- ・管理会社の取締役会が継続企業を前提として財務書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、当ファンドまたは各サブ・ファンドの継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務書類の開示に注意を喚起すること、または重要な不確実性に関する財務書類の開示が適切でない場合は、財務書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。私たちの結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、当ファンドまたはそのいずれかのサブ・ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・関連する注記を含めた全体としての財務書類の表示、構成および内容、ならびに財務書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

私たちは、統治責任者に対して、特に、計画した監査の範囲とその実施時期、および監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項について報告を行う。

ルクセンブルグ、2023年5月4日

ケーピーエムジー オーディット エス・アー・
エール・エル
公認の監査法人

ミルコ・レーマン



KPMG Audit S.à r.l.
39, Avenue John F. Kennedy
L-1855 Luxembourg

Tel: +352 22 51 51 1
Fax: +352 22 51 71
E-mail: info@kpmg.lu
Internet: www.kpmg.lu

**An die Anteilhaber des
DWS World Funds
2, Boulevard Konrad Adenauer
L-1115 Luxembourg**

BERICHT DES „REVISEUR D'ENTREPRISES AGREE“

Bericht über die Jahresabschlussprüfung

Prüfungsurteil

Wir haben den Jahresabschluss des DWS World Funds und seiner jeweiligen Teilfonds („der Fonds“), bestehend aus der Vermögensaufstellung einschließlich des Wertpapierbestands und der sonstigen Vermögenswerte zum 31. Dezember 2022, der Ertrags- und Aufwandsrechnung und der Entwicklung des Fondsvermögens für das an diesem Datum endende Geschäftsjahr sowie erläuternden Angaben, einschließlich einer Zusammenfassung bedeutsamer Rechnungslegungsmethoden, geprüft.

Nach unserer Beurteilung vermittelt der beigefügte Jahresabschluss in Übereinstimmung mit den in Luxemburg geltenden gesetzlichen Bestimmungen und Verordnungen betreffend die Aufstellung und Darstellung des Jahresabschlusses ein den tatsächlichen Verhältnissen entsprechendes Bild der Vermögens- und Finanzlage des DWS World Funds und seiner jeweiligen Teilfonds zum 31. Dezember 2022 sowie der Ertragslage und der Entwicklung des Fondsvermögens für das an diesem Datum endende Geschäftsjahr.

Grundlage für das Prüfungsurteil

Wir führten unsere Abschlussprüfung in Übereinstimmung mit dem Gesetz über die Prüfungstätigkeit („Gesetz vom 23. Juli 2016“) und nach den für Luxemburg von der „Commission de Surveillance du Secteur Financier“ („CSSF“) angenommenen internationalen Prüfungsstandards („ISA“) durch. Unsere Verantwortung gemäß dem Gesetz vom 23. Juli 2016 und den ISA-Standards, wie sie in Luxemburg von der CSSF angenommen wurden, wird im Abschnitt „Verantwortung des „réviseur d'entreprises agréé“ für die Jahresabschlussprüfung“ weitergehend beschrieben. Wir sind auch unabhängig von dem Fonds in Übereinstimmung mit dem für Luxemburg von der CSSF angenommenen „International Code of Ethics for Professional Accountants, including International Independence Standards“, herausgegeben vom „International Ethics Standards Board for Accountants“ („IESBA Code“), zusammen mit den beruflichen Verhaltensanforderungen, welche wir im Rahmen der Jahresabschlussprüfung einzuhalten haben, und haben alle sonstigen Berufspflichten in Übereinstimmung mit diesen Verhaltensanforderungen erfüllt. Wir sind der Auffassung, dass die von uns erlangten Prüfungsnachweise ausreichend und geeignet sind, um als Grundlage für unser Prüfungsurteil zu dienen.

Sonstige Informationen

Der Vorstand der Verwaltungsgesellschaft ist verantwortlich für die sonstigen Informationen. Die sonstigen Informationen beinhalten die Informationen, welche im Jahresbericht enthalten sind, jedoch beinhalten sie nicht den Jahresabschluss oder unseren Bericht des „réviseur d'entreprises agréé“ zu diesem Jahresabschluss.



Unser Prüfungsurteil zum Jahresabschluss deckt nicht die sonstigen Informationen ab und wir geben keinerlei Sicherheit jedweder Art auf diese Informationen.

Im Zusammenhang mit der Prüfung des Jahresabschlusses besteht unsere Verantwortung darin, die sonstigen Informationen zu lesen und dabei zu beurteilen, ob eine wesentliche Unstimmigkeit zwischen diesen und dem Jahresabschluss oder mit den bei der Abschlussprüfung gewonnenen Erkenntnissen besteht oder auch ansonsten die sonstigen Informationen wesentlich falsch dargestellt erscheinen. Sollten wir auf Basis der von uns durchgeführten Arbeiten schlussfolgern, dass sonstige Informationen wesentliche falsche Darstellungen enthalten, sind wir verpflichtet, diesen Sachverhalt zu berichten. Wir haben diesbezüglich nichts zu berichten.

Verantwortung des Vorstands der Verwaltungsgesellschaft

Der Vorstand der Verwaltungsgesellschaft ist verantwortlich für die Aufstellung und sachgerechte Gesamtdarstellung des Jahresabschlusses in Übereinstimmung mit den in Luxemburg geltenden gesetzlichen Bestimmungen und Verordnungen zur Aufstellung und Darstellung des Jahresabschlusses und für die internen Kontrollen, die der Vorstand als notwendig erachtet, um die Aufstellung des Jahresabschlusses zu ermöglichen, der frei von wesentlichen, beabsichtigten oder unbeabsichtigten, falschen Darstellungen ist.

Bei der Aufstellung des Jahresabschlusses ist der Vorstand der Verwaltungsgesellschaft verantwortlich für die Beurteilung der Fähigkeit des Fonds und seiner jeweiligen Teilfonds zur Fortführung der Unternehmenstätigkeit und, sofern einschlägig, Angaben zu Sachverhalten zu machen, die im Zusammenhang mit der Fortführung der Unternehmenstätigkeit stehen, und die Annahme der Unternehmensfortführung als Rechnungslegungsgrundsatz zu nutzen, sofern nicht der Vorstand der Verwaltungsgesellschaft beabsichtigt, den Fonds oder einzelne seiner Teilfonds zu liquidieren, die Geschäftstätigkeit einzustellen oder keine andere realistische Alternative mehr hat, als so zu handeln.

Verantwortung des „réviseur d’entreprises agréé“ für die Jahresabschlussprüfung

Die Zielsetzung unserer Prüfung ist es, eine hinreichende Sicherheit zu erlangen, ob der Jahresabschluss als Ganzes frei von wesentlichen, beabsichtigten oder unbeabsichtigten, falschen Darstellungen ist und darüber einen Bericht des „réviseur d’entreprises agréé“, welcher unser Prüfungsurteil enthält, zu erteilen. Hinreichende Sicherheit entspricht einem hohen Grad an Sicherheit, ist aber keine Garantie dafür, dass eine Prüfung in Übereinstimmung mit dem Gesetz vom 23. Juli 2016 und nach den für Luxemburg von der CSSF angenommenen ISAs stets eine wesentliche falsche Darstellung, falls vorhanden, aufdeckt. Falsche Darstellungen können entweder aus Unrichtigkeiten oder aus Verstößen resultieren und werden als wesentlich angesehen, wenn vernünftigerweise davon ausgegangen werden kann, dass diese individuell oder insgesamt, die auf der Grundlage dieses Jahresabschlusses getroffenen wirtschaftlichen Entscheidungen von Adressaten beeinflussen.

Im Rahmen einer Abschlussprüfung in Übereinstimmung mit dem Gesetz vom 23. Juli 2016 und nach den für Luxemburg von der CSSF angenommenen ISAs üben wir unser pflichtgemäßes Ermessen aus und bewahren eine kritische Grundhaltung.



Darüber hinaus:

- Identifizieren und beurteilen wir das Risiko von wesentlichen falschen Darstellungen im Jahresabschluss aus Unrichtigkeiten oder Verstößen, planen und führen Prüfungshandlungen durch als Antwort auf diese Risiken und erlangen Prüfungsnachweise, die ausreichend und angemessen sind, um als Grundlage für das Prüfungsurteil zu dienen. Das Risiko, dass wesentliche falsche Darstellungen nicht aufgedeckt werden, ist bei Verstößen höher als bei Unrichtigkeiten, da Verstöße betrügerisches Zusammenwirken, Fälschungen, beabsichtigte Unvollständigkeiten, irreführende Angaben bzw. das Außerkraftsetzen interner Kontrollen beinhalten können.
- Gewinnen wir ein Verständnis von dem für die Abschlussprüfung relevanten internen Kontrollsystem, um Prüfungshandlungen zu planen, die unter den gegebenen Umständen angemessen sind, jedoch nicht mit dem Ziel, ein Prüfungsurteil zur Wirksamkeit des internen Kontrollsystems des Fonds abzugeben.
- Beurteilen wir die Angemessenheit der vom Vorstand der Verwaltungsgesellschaft angewandten Bilanzierungsmethoden, der rechnungslegungsrelevanten Schätzungen und der entsprechenden erläuternden Angaben.
- Schlussfolgern wir über die Angemessenheit der Anwendung des Rechnungslegungsgrundsatzes der Fortführung der Unternehmenstätigkeit durch den Vorstand der Verwaltungsgesellschaft sowie auf der Grundlage der erlangten Prüfungsnachweise, ob eine wesentliche Unsicherheit im Zusammenhang mit Ereignissen oder Gegebenheiten besteht, die bedeutsame Zweifel an der Fähigkeit des Fonds oder einzelner seiner Teilfonds zur Fortführung der Unternehmenstätigkeit aufwerfen könnten. Sollten wir schlussfolgern, dass eine wesentliche Unsicherheit besteht, sind wir verpflichtet, im Bericht des „réviseur d’entreprises agréé“ auf die dazugehörigen erläuternden Angaben zum Jahresabschluss hinzuweisen oder, falls die Angaben unangemessen sind, das Prüfungsurteil zu modifizieren. Diese Schlussfolgerungen basieren auf der Grundlage der bis zum Datum des Berichts des „réviseur d’entreprises agréé“ erlangten Prüfungsnachweise. Zukünftige Ereignisse oder Gegebenheiten können jedoch dazu führen, dass der Fonds oder einzelne seiner Teilfonds die Unternehmenstätigkeit nicht mehr fortführen können.
- Beurteilen wir die Gesamtdarstellung, den Aufbau und den Inhalt des Jahresabschlusses einschließlich der erläuternden Angaben und beurteilen, ob dieser die zugrundeliegenden Geschäftsvorfälle und Ereignisse sachgerecht darstellt.

Wir kommunizieren mit den für die Überwachung Verantwortlichen unter anderem den geplanten Prüfungsumfang und Zeitraum sowie wesentliche Prüfungsfeststellungen einschließlich wesentlicher Schwächen im internen Kontrollsystem, welche wir im Rahmen der Prüfung identifizieren.

Luxemburg, 4. Mai 2023

KPMG Audit S.à r.l.
Cabinet de révision agréé



Mirco Lehmann

(1) 貸借対照表

DWS ワールド・ファンズ-DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンド

投資有価証券明細およびその他の純資産を含む純資産計算書である。

投資ポートフォリオ

2022年12月31日現在

銘柄名	口数 / 通貨	数量/額面		報告期間中の買付/ 追加		報告期間中の売却/ 処分		市場価格	市場価値合計		純資 産構 成比 (%)
		(表示通 貨、千)	(千円)	(表示通 貨、千)	(千円)	(表示通 貨、千)	(千円)		(ランド)	(円)	
上場有価証券									294,172,550.50	2,156,284,795	90.02
利付有価証券											
4.5000% Asian Development Bank 20/07 12 23 MTN (XS2265997036)	ZAR	32,000	234,560	10,000	73,300			% 96.7035	30,945,120.00	226,827,730	9.47
0.0000% Citigroup Global Markets 18/12 07 23 MTN (XS1762713961)	ZAR	10,000	73,300					% 95.3490	9,534,900.00	69,890,817	2.92
10.0000% Development Bank of South Africa 03/27 02 23 MTN (ZAG000019779)	ZAR	20,000	146,600					% 100.3765	20,075,306.00	147,151,993	6.14
8.5000% European Investment Bank 14/17 09 24 MTN (XS1110395933)	ZAR	25,000	183,250	25,000	183,250			% 100.7115	25,177,875.00	184,553,824	7.71
7.2500% European Investment Bank 15/28 02 23 MTN (XS1179347999)	ZAR	29,500	216,235	9,500	69,635			% 99.7945	29,439,377.50	215,790,637	9.01
7.5000% Int. Bank for Rec. and Developm. 18/17 05 23 MTN (XS1822557697)	ZAR	32,000	234,560	19,000	139,270			% 99.7050	31,905,600.00	233,868,048	9.76
7.7500% KfW 18/06 06 23 MTN (XS1832787201)	ZAR	30,000	219,900	200,000	1,466,000	170,000	1,246,100	% 99.8600	29,958,000.00	219,592,140	9.17
5.0000% KfW 21/12 04 23 MTN (XS2330162764)	ZAR	45,000	329,850	45,000	329,850			% 99.1240	44,605,800.00	326,960,514	13.65
7.7500% South Africa 12/28 02 23 No 2023 (ZAG000096165)	ZAR	41,000	300,530			4,000	29,320	% 100.0460	41,018,860.00	300,668,244	12.55
10.5000% South Africa 97/21 12 26 No 186 (ZAG000016320)	ZAR	29,800	218,434	29,800	218,434			% 105.7440	31,511,712.00	230,980,849	9.64
有価証券ポートフォリオ合計									294,172,550.50	2,156,284,795	90.02

	(表示通貨)	(円)							
銀行預金						25,637,940.69	187,926,105	7.85	
預託銀行に預け入れた要求払預金									
南アフリカ・ランド建て預金	ZAR	22,720,390.54	166,540,463	%	100	22,720,390.54	166,540,463	6.95	
EU/欧州経済領域国通貨建て預金	ZAR	2,888,002.94	21,169,062	%	100	2,888,002.94	21,169,062	0.88	
南アフリカ・ランド以外の通貨建て預金									
日本円	JPY	229,861.00	229,861	%	100	29,547.21	216,581	0.01	
その他の資産						8,912,721.15	65,330,246	2.73	
未収利息	ZAR	8,912,721.15	65,330,246	%	100	8,912,721.15	65,330,246	2.73	
資産合計 ¹						328,723,212.34	2,409,541,146	100.60	
その他の負債						-422,181.45	-3,094,590	-0.13	
費用項目による負債	ZAR	-381,595.44	-2,797,095	%	100	-381,595.44	-2,797,095	-0.12	
追加のその他の負債	ZAR	-40,586.01	-297,495	%	100	-40,586.01	-297,495	-0.01	
受益証券取引による負債	ZAR	-1,533,486.00	-11,240,452	%	100	-1,533,486.00	-11,240,452	-0.47	
純資産						326,767,544.89	2,395,206,104	100.00	
受益証券1口当たり純資産価格						19.51	143		
発行済受益証券口数						16,751,185.218口			

パーセント表示の算出値は四捨五入した値であるため、ごくわずかな誤差が生じている可能性がある。

報告期間中に完了し、既に投資ポートフォリオに表示されていない取引の一覧は、請求に応じて管理会社から無料で入手可能である。

参照ポートフォリオの構成 (CSSF通達11/512に基づく)

JP Morgan Gov Bond Local Curr ZAR Index

市場リスク・エクスポージャー (バリュー・アット・リスク) (CSSF通達11/512に基づく)

最小市場リスク・エクスポージャー	%	10.850
最大市場リスク・エクスポージャー	%	23.954
平均市場リスク・エクスポージャー	%	16.116

2022年1月1日から2022年12月31日までの会計年度のバリュー・アット・リスクは、ヒストリカル・シミュレーション法により、信頼水準99%、保有期間10日および有効なヒストリカル・データ観測期間1年を用いて計算されている。デリバティブを含まない参照ポートフォリオにおけるリスクが測定ベンチマークとして用いられている。市場リスクとは、市場価格の不利な変動によりファンドの資産が被るリスクである。会社は、CSSF通達11/512に規定されている相対的バリュー・アット・リスク・アプローチにより潜在的な市場リスクを決定している。

当報告期間において、デリバティブの利用による平均レバレッジ効果は0.0であり、この計算にはファンドの資産に関連するデリバティブの想定元本の総額が用いられる (想定元本総額アプローチ)。

為替レート (間接相場)

2022年12月30日現在

ユーロ	0.055273ユーロ = 1南アフリカ・ランド
日本円	7.779448円 = 1南アフリカ・ランド

評価に関する注記事項

管理会社が受益証券1口当たり純資産価格を決定し、ファンドの資産評価を行う。基礎的な価格データの手配および価格の検証は、管理会社が法律および規制上の要求事項またはファンド目論見書において規定された評価方法の原則に基づいて導入している手法に従って行われる。

取引価格が入手できない場合、価格は外部の価格情報提供者としてのステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbHルクセンブルグ支店と管理会社との間で合意され、かつ可能な限り市場パラメータに基づく評価モデル（生成された市場価値）の活用により決定される。当該手順は継続的なモニタリング・プロセスの対象となっている。第三者から入手した価格情報に関する信頼性の確認は、その他の評価機関、モデル算式もしくはその他の適切な手順の利用を通して行われる。

本報告書で報告されている投資評価額は生成された市場価値に基づくものではない。

スウィング・プライシングに関する注記事項

スウィング・プライシングとは、申込みおよび買戻しの活動から生じる取引コストによるマイナスの影響から受益者を保護することを意図したメカニズムである。ポートフォリオ・マネージャーが（サブ）ファンドにおける大量の純流入／純流出を管理するために有価証券を購入または売却しなければならない場合、発生するすべての取引コストやその他のコストを純資産価額が反映していないことがあるため、（サブ）ファンド内における大量の申込みおよび買戻しは、当該（サブ）ファンドの資産の希薄化につながる可能性がある。これらのコストの他に、大量の注文は、通常の状態において適用される市場価格を大幅に下回るまたは上回る市場価格を生じさせる可能性がある。

既存受益者の投資家保護の強化のため、上記の累積純流入／純流出が評価日の（サブ）ファンドに重大な影響を及ぼし、所定の基準値を超える場合、取引コストやその他の費用を補償するためにスウィング・プライシングのメカニズムを適用することができる（部分的なスウィング・プライシング）。このメカニズムはすべての（サブ）ファンドに適用可能である。特定の（サブ）ファンドにスウィング・プライシングが導入される場合、売目論見書の特別なセクションにおいて開示される。

ファンドの管理会社は、特に現在の市況、利用可能な市場流動性および見積希薄化コストに基づき、スウィング・プライシングのメカニズムの適用に関する基準値を予め決定する。これらの基準値に従って、調整そのものは自動的に開始される。純流入／純流出がスウィングの基準値を超える場合、純資産価額は、（サブ）ファンドに大量の純流入があれば上方修正され、大量の純流出があれば下方修正される。この調整は、該当する取引日におけるすべての申込みおよび買戻しに対して等しく適用される。

（サブ）ファンドに関して運用成果報酬が適用される場合、その計算は当初の純資産価額に基づき行われる。

管理会社は、個々の（サブ）ファンドそれぞれに関するスウィング・ファクターを決定するスウィング・プライシング委員会を設置している。これらのスウィング・ファクターは、純資産価額の調整の程度を示している。スウィング・プライシング委員会は、特に以下の要因を検討する。

- ・ビッド・アスク・スプレッド（固定価格の要素）
- ・市場への影響（取引が価格に与える影響）
- ・投資のための取引活動から生じる追加コスト

適用されるスウィング・ファクターの適切性、スウィング・プライシングに関連して行われた運用上の意思決定（スウィング基準値を含む）、調整の程度および影響を受ける（サブ）ファンドについては、定期的にレビューが行われる。

したがって、スウィング・プライシングの調整額は、（サブ）ファンドごとに様々であり、一般的に当初の受益証券1口当たり純資産価格の2%を超えることはない。純資産価額の調整は、請求により、管理会社から入手可能である。しかし、極めて流動性の低い市場環境において、管理会社はスウィング・プライシングの調整を当初の純資産価格の2%を超えて引き上げる可能性がある。かかる引き上げ

は、管理会社のウェブサイト（www.dws.com）で公表される。

このメカニズムは、重大な純流入／純流出が予想される場合にのみ適用されるべきであり、通常取引量には適用されないため、純資産価額は稀な場合にのみ調整されると想定される。

この（サブ）ファンドはスウィング・プライシングを適用可能だが、その純流入／純流出が関連する所定の基準値を超えなかったため、当報告期間においてこれを適用していない。

脚注

¹ 残高がマイナスのポジション（該当がある場合）は含まれていない。

損益計算書（収益調整を含む）

2022年1月1日から2022年12月31日までの期間

	(ランド)	(円)
I. 収益		
1. 有価証券による受取利息（源泉徴収税控除前）	20,904,209.04	153,227,852
2. 流動資産投資による受取利息（源泉徴収税控除前）	714,528.80	5,237,496
収益合計	21,618,737.84	158,465,348
II. 費用		
1. 借入金に係る支払利息および預金に係る負の利息ならびに利息に類似する費用	-14,708.62	-107,814
<u>以下を含む：</u>		
コミットメント手数料	-3,640.54	-26,685
2. 管理報酬	-4,485,341.73	-32,877,555
<u>以下を含む：</u>		
一括報酬	-4,485,341.73	-32,877,555
3. その他の費用	-720,832.60	-5,283,703
<u>以下を含む：</u>		
法務およびコンサルティング費用	-564,527.28	-4,137,985
年次税	-156,305.32	-1,145,718
費用合計	-5,220,882.95	-38,269,072
III. 純投資利益	16,397,854.89	120,196,276
IV. 売買取引		
1. 実現利益	208,208.09	1,526,165
2. 実現損失	-7,079,676.01	-51,894,025
キャピタル・ゲイン／ロス	-6,871,467.92	-50,367,860
V. 当期実現純利益／損失	9,526,386.97	69,828,416
1. 未実現評価益の純変動	58,413.00	428,167
2. 未実現評価損の純変動	1,332,871.38	9,769,947
VI. 当期末実現純利益／損失	1,391,284.38	10,198,115
VII. 当期純利益／損失	10,917,671.35	80,026,531

注：未実現評価益（損）の純変動は、期首現在のすべての未実現評価益（損）の総額から期末現在のすべての未実現評価益（損）の総額を差し引いて計算されている。未実現評価益（損）の総額には、報告日現在で各資産に関して認識された評価額とそれぞれの取得原価との比較によるプラス（マイナス）の差額が含まれている。

表示されている未実現評価益／損に収益調整は含まれていない。

BVI 総費用比率（以下「TER」という。）

総費用比率は、年率1.63%であった。TERは、特定の会計年度におけるコミットメント手数料を含む費用および報酬（取引費用を除く）の合計がファンドの平均純資産に占める割合として表されている。

取引費用

報告期間に支払われた取引費用は、559.45ランドであった。

取引費用には、会計年度にファンドの勘定に関して個別に報告または決済された、資産の売買に直接関係するすべての費用が含まれる。支払われていた可能性のある、金融取引に係る税金はすべて計算に含まれている。

ファンドの純資産変動計算書

	(ランド)	(円)
I. ファンドの期首純資産価額	382,835,865.24	2,806,186,892
1. 純流入額	-67,847,991.14	-497,325,775
a) 受益証券発行による流入	10,080,503.66	73,890,092
b) 受益証券買戻による流出	-77,928,494.80	-571,215,867
2. 収益調整	861,999.44	6,318,456
3. 当期純利益／損失	10,917,671.35	80,026,531
<u>以下を含む：</u>		
未実現評価益の純変動	58,413.00	428,167
未実現評価損の純変動	1,332,871.38	9,769,947
II. ファンドの期末純資産価額	326,767,544.89	2,395,206,104

損益の要約

	(ランド)	(円)
実現利益（収益調整を含む）	208,208.09	1,526,165
源泉：		
有価証券取引	203,778.09	1,493,693
（先渡）為替取引	4,430.00	32,472
実現損失（収益調整を含む）	-7,079,676.01	-51,894,025
源泉：		
有価証券取引	-7,074,042.30	-51,852,730
（先渡）為替取引	-5,633.71	-41,295
未実現評価益／損の純変動	1,391,284.38	10,198,115
源泉：		
有価証券取引	1,391,284.38	10,198,115

分配方針の詳細*

会計年度の収益は再投資されている。

* 他の情報は売出目論見書に記載されている。

過去3年間の純資産および受益証券1口当たり純資産価格の変動

	期末純資産		受益証券1口当たり純資産価格	
	(ランド)	(円)	(ランド)	(円)
2022年	326,767,544.89	2,395,206,104	19.51	143
2021年	382,835,865.24	2,806,186,892	18.85	138
2020年	424,616,432.27	3,112,438,449	18.36	135

2022年12月31日現在のファンドの運用は、DWS 南アフリカ・ランド・短期債・ファンドのみであるため、サブ・ファンドの財務書類は同時に、ファンド全体の連結数字を表す。

密接な関係のある企業（ドイツ銀行グループの主要持分に基づく）を通じて実施された当ファンドの資産勘定に係る取引

密接な関係のある企業および個人（所有持分が5%以上）であるブローカーを通じて実施された、報告期間中に行われた当ファンドの資産勘定に係る取引が全取引に占める割合は14.99%であった。総取引額は85,078,557.94ランドであった。

一般情報

本報告書に記載するファンドは、投資信託に適用される2010年12月17日付のルクセンブルグ法パートII（その後の改正を含む）に基づく投資ファンド（fonds commun de placement）であり、オルタナティブ投資ファンド管理会社に適用される2013年7月12日法（その後の改正を含む）に基づくオルタナティブ投資ファンド（AIF）とみなされている。

パフォーマンス

ミューチュアル・ファンド（投資信託）の投資収益、すなわちパフォーマンスは、ファンド受益証券の価額の変動によって測定される。受益証券1口当たり純資産価格（＝買戻価格）に中間分配金を加算した金額が、評価額の算定の基礎として用いられる。過去のパフォーマンスは将来の運用成績を示唆するものではない。

対応するベンチマークが定められている場合は、本報告書に表示されている。本報告書中のすべての財務データは、2022年12月31日現在の値である（別途明示されている場合を除く）。

売出目論見書

ファンド受益証券の購入は、最新の売出目論見書および運用管理規程、ならびに主要投資家情報文書に加え、直近の監査済年次報告書および直近の年次報告書後に中間報告書がある場合にはかかる中間報告書に基づき行われる。

発行価格および買戻価格

現時点の発行価格および買戻価格、ならびに受益証券保有者向けの他のすべての情報は、管理会社の登記事務所で、または支払代理人から随時請求できる。また、発行価格および買戻価格は、受益証券の募集を実施した各国で、適切な媒体（インターネット、電子情報システム、新聞等）を通じて公示される。

ロシア／ウクライナ危機

ロシアとウクライナ間の紛争は、ヨーロッパにおける劇的な転換期をもたらし、特にヨーロッパの安全保障体制およびエネルギー政策に長期的に影響を与えており、また相当なボラティリティが生じている。このボラティリティは継続する可能性が高い。しかし、この危機が経済、各市場および各セクターに及ぼす具体的なまたは発生する可能性のある中長期的影響、ならびに社会的影響については、不確実性により、本報告書作成時点で最終的に評価することはできない。したがって、管理会社は、リスク管理戦略の枠組みの中で、これらの不確実性ならびにそれが各サブ・ファンドの運用、流動性およびパフォーマンスに及ぼす可能性のある影響を評価する努力を継続している。管理会社は、投資者の利益を最大限に保護するために、適切と考えられるすべての措置を講じている。

(2) 損益計算書

ファンドの損益計算書については、「Ⅱ. 財務書類」の「(1) 貸借対照表」の項目に記載したファンドの「損益計算書(収益調整を含む)」を参照のこと。

(3) 投資有価証券明細表等

ファンドの投資有価証券明細表については、「Ⅱ. 財務書類」の「(1) 貸借対照表」の項目に記載したファンドの「投資ポートフォリオ」を参照のこと。

Ⅲ. お知らせ

該当事項はありません。